

【NEWS RELEASE】

2020年2月28日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社グリーンシステムコーポレーションに「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社グリーンシステムコーポレーション（代表取締役社長：阿久津 昌弘）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（ ）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社グリーンシステムコーポレーションについては、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

太陽光発電事業による再生可能エネルギーの利用促進、地元の雇用創出

目標7 エネルギーを みんなに そしてクリーンに	ターゲット7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
目標8 働きがいも 経済成長も	ターゲット8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。

ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電設備）を通じた、持続可能な農業の促進

目標2 飢餓をゼロに	ターゲット2.4 2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する。
目標12 つくる責任 つかう責任	ターゲット12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



農地活用による地域創生 –
ソーラーシェアリング



デスクワークから離れ
社員総出で無農薬栽培に挑戦



太陽光発電所の下で
放牧豚が草地をメンテナンス

<ご参考>

SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。